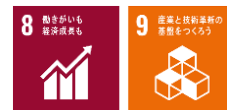


株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

「京銀輝く未来応援ファンド」

既存投資先(「リジェネフロ株式会社」)への追加投資について



京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、グループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 竹中 伸一）と共同で設立した「京銀未来ファンド2号」は、「リジェネフロ株式会社」へ投資いたしました。同社へは2020年5月にも投資を行っており、本件は追加投資となります。

「リジェネフロ株式会社」は、京都大学iPS細胞研究所（CiRA）増殖分化機構研究部門の長船 健二教授の研究成果をベースに、ヒトiPS細胞を用いた腎疾患に対する再生医療の研究・開発を進める、京都大学発のベンチャー企業です。「京銀未来ファンド2号」では、今般、同社のより一層の成長を支援するため追加投資を行いました。

京都銀行グループでは、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業のほか、事業承継ニーズを有する中小企業等に投資を行うことで、持続可能な経済成長の実現に向けて、地域の発展と成長に貢献できるよう取組んでまいります。

記

1. 投資先概要

企業名	リジェネフロ株式会社
代表者	代表取締役 石切山 俊博
本社所在地	京都市左京区吉田下阿達町46-29 京都大学医薬系総合研究棟
設立	2019年9月
事業内容	腎疾患治療薬の研究開発・生産・販売

2. 投資額

29,966,500円

※2020年5月の「京銀未来ファンド2号」での投資額は10,011,000円。
本件と合わせ、当社に対する投資額は計39,977,500円となります。

3. 投資について

本件投資により、「リジェネフロ株式会社」は、技術の実用化に向けた非臨床試験を行う。

4. 京銀未来ファンド2号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド2号)
投資対象	当行営業エリア内に本社を置く企業で、独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業・中小企業等
出 資 者	無限責任組合員 (G P)：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員 (L P)：株式会社 京都銀行
ファンド総額	20億円
当行出資額	19億80百万円
設 立	2019年2月25日
存続期間	10年 (ただし、合意により2年間の延長可能)

以 上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

